資料５

令和８年７月３０日
新宿環境審議会資料

令和７年度における「新宿区第三次環境基本計画（改定）」の進捗の点検・評価について

指標の達成状況から「新宿区第三次環境基本計画（改定）」の進捗を点検・評価しました。

新宿区第三次環境基本計画（改定）の体系

地域資源を活かし、区民・事業者・区が一体となってつくる
持続可能な環境都市・新宿

1　地球温暖化対策の推進

1　再生可能エネルギー等の導入推進
2　省エネルギー対策の加速
3　気候変動適応の推進

2　豊かなみどりの保全と創出

1　まちなかのみどりの保全と創出
2　水やみどりに親しめる環境づくり

3　資源循環型社会の構築

1　ごみの減量とリサイクルの推進
2　適正なごみ処理の推進

4　良好な生活環境づくりの推進

1　きれいなまちづくりの推進
2　都市型公害対策の推進

5　環境学習・環境教育の推進

1　多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進
2　次代を担う子どもたちなどへの環境学習・環境教育の推進

①令和７年度における新宿区第三次環境基本計画（改定）の進捗の点検・評価について

基本目標１　地球温暖化対策の推進

個別目標１－１　再生可能エネルギー等の導入推進

個別目標１－２　省エネルギー対策の加速

個別目標１－３　気候変動適応の推進

指標		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	第三次環境基本計画における目標値	その他目標値 （目標年度が到来している場合）	評価・今後の対応
①	再生可能エネルギー電力等を導入している区民の割合 （区政モニターアンケート調査結果による）	― （値なし）	― （値なし）	4.8%	3.5%	5.3%	5.7%	20%を目指す （令和9年度）	―	令和6年度における再生可能エネルギー電力等の区民による導入状況は、前年度から0.4%上昇し、導入区民の割合は微増となりました。 目標値達成に向けた進捗状況は依然として厳しいものがありますが、国や都の動向も踏まえ、目標達成に繋がるよう努めていきます。
②	再生可能エネルギー電力等を導入している事業所の割合 （アンケート調査結果による）	― （値なし）	― （値なし）	8.7%	6.3%	12.3%	11.4%	25%を目指す （令和9年度）	―	令和7年度は、0.9%減少しましたが、これはアンケート調査の回答数が増加したことによるもので、再生可能エネルギー設備を導入している事業所数については、令和６年度と同数です。 目標値達成には依然として厳しい状況ですが「省エネルギー機器等補助制度」において、令和8年度から導入した再生可能エネルギー電力の導入等を行った事業所に対する補助上限額及び補助率の引き上げ制度(※)を活用して、区内事業者に対する再生可能エネルギー電力の導入推進を図っていきます。
③	街路灯の改修	小型蛍光灯LED化 856基/年 【累計】1,817基	小型蛍光灯LED化 944基/年 【累計】2,761基	小型蛍光灯LED化 754基/年 【累計】3,515基	小型蛍光灯LED化 311基/年 【累計】3,826基	小型セラミックメタルハライドランプ灯LED化 465基/年	―	―	―	令和5年度で小型蛍光灯、令和6年度で小型セラミックメタルハライドランプ灯のLED化が完了し、小型街路灯のLED化が完了しました。今後は適切な維持管理に努めていきます。
		大型街路灯省エネ化 56基/年 【累計】363基	大型街路灯LED化 80基/年 【累計】443基	大型街路灯LED化 118基/年 【累計】561基	大型街路灯LED化 227基/年 【累計】788基	大型街路灯LED化 376基/年 【累計】1,164基	大型街路灯LED化 449基/年 【累計】1,613基	―	大型街路灯LED化 【累計】2,129基 （令和9年度）※	令和7年度は目標値である350基を上回る449基のLED化を実施しました。令和9年度の目標に向け、今後も電力消費量やＣＯ₂排出量の低減を図るため、大型街路灯のLED化を計画的に実施していきます。
④	遮熱性舗装の整備面積	1,911㎡/年 【累計】31,711㎡	1,849㎡/年 【累計】33,560㎡	1,836㎡/年 【累計】35,396㎡	1,703㎡/年 【累計】37,099㎡	1,668㎡/年 【累計】38,767㎡	1,858㎡/年 【累計】40,625㎡	―	【累計】43,499㎡ （令和9年度）※	令和7年度は目標値である1,600㎡を上回る1,858㎡を整備しました。令和9年度の目標に向け、今後もヒートアイランド現象の抑制を図るため、引き続き遮熱性舗装を整備していきます。
⑤	区民によるみどりのカーテン新規設置枚数	299枚/年	402枚/年	402枚/年	243枚/年	192枚/年	220枚/年	―	400枚/年	新規参加者の増加に向けて、地域の特別出張所での開催回数を拡大（3回→4回）し、参加者の利便性向上を図ったことで、200枚を超えるカーテンを新たに設置することができました。 今後も、参加者の利便性に配慮しながら、設置数の向上を図っていきます。
⑥	「新宿の森」でのカーボン・オフセット事業によるCO_2吸収量	277.5t-CO_2/年	243.1t-CO_2/年	239.3t-CO_2/年	227.9t-CO_2/年	216.05t-CO_2/年	265.25t-CO_2/年	―	420t-CO_2/年 （令和9年度）※	「新宿の森・伊那」で初となる植林に加え、「新宿の森・沼田」においても5年に一度の植林を行ったことにより、CO2吸収量を8年ぶりに増加させることができました。 今後も、各自治体・関係団体と施業地確保に向けた協議・調整を進め、CO2吸収量の増大を図っていきます。

※令和７年度の数値については速報値

基本目標２　豊かなみどりの保全と創出

個別目標２－１　まちなかのみどりの保全と創出

個別目標２－２　水やみどりに親しめる環境づくり

	指標	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	目標値	その他目標値 （目標年度が到来している場合）	評価・今後の対応
①	公園面積の目標	117.41ha	117.41ha	119.86ha	120.15ha	120.15ha	120.08ha	119.28ha （平成29 年度の117.28ha から新たに2ha の公園面積を確保） （令和9年度）	―	令和4年度に都立明治公園が再開園したことなどが寄与し、目標を達成しているところです。令和7年度は、借地公園における用地の一部返還等により公園面積が減少しましたが、これからも新たな公園面積の確保に努めていきます。
②	緑被率	17.98% （令和2年度）	17.98% （令和2年度）	17.98% （令和2年度）	17.98% （令和2年度）	17.98% （令和2年度）	17.87% （令和7年度）	18.48% （平成27 年度の17.48%から1%アップ） （令和9年度）	―	令和7年度に実施した「新宿区みどりの実態調査（第10次）」結果では、令和2年度と比較して緑被率は約0.1%減少しました。樹木・樹林による緑被地面積は減少した一方、屋上緑地は微増しました。引き続き、樹木等の保全や緑化を促進する施策を実施することで緑被率の向上に取り組んでいきます。
③	緑視率 （人の目に見えるみどりの割合）	18.2% （平成28年度）	18.2% （平成28年度）	18.2% （平成28年度）	18.2% （平成28年度）	18.2% （平成28年度）	18.2% （平成28年度）	20% （令和9年度）	―	令和9年度の目標達成に向けて、公共施設や民有地での緑化の指導や生物多様性に配慮したみどりづくり等を推進し、積極的なみどりの創出・拡充に取り組んでいます。
④	神田川親水テラスの年間利用者数（一般開放時）	中止	中止	2,238 人／年	2,399人／年	1,790人	2,598人／年	【累計】9,000 人 （令和5～9 年度の計）	―	令和7年度は、事業開始以来過去最高の利用者数となりました。今後も周知活動等に積極的に取り組み、より多くの区民に川に入る体験を提供していきます。

基本目標３　資源循環型社会の構築

個別目標３－１　ごみの減量とリサイクルの推進

個別目標３－２　適正なごみ処理の推進

	指標	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	目標値	その他目標値 （目標年度が到来している場合）	評価・今後の対応
①	区民一人1日あたりの区収集ごみ量	562g/人日	552g/人日	535g/人日	511g/人日	503g/人日	491g/人日	444g/人日 （令和9年度）	―	令和7年度は、前年度比12g/人日の減少となりました。目標値達成に向けて、幅広い層に向けた普及啓発の充実等により３Rを推進し、数値の更なる減少を図ります。
②	ごみ総排出量 （区収集ごみ量＋持込ごみ量）	124,100 t／年	125,846t／年	132,656t／年	133,360t／年	132,999t／年	未確定	114,207t／年 （令和9年度）	―	
③	家庭系食品ロス量	4,500 t／年	4,390t／年	4,300 t／年	4,160 t／年	4,115 t／年	4,044t／年	3,860t／年 （令和9年度）	―	令和7年度は前年度比71 tの減少となりました。目標値達成に向け、引続き、食品ロス削減及びフードドライブ等の推進により、数値の着実な減少を図ります。

基本目標４　良好な生活環境づくりの推進

個別目標４－１　きれいなまちづくりの推進

個別目標４－２　都市型公害対策の推進

	指標	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	目標値	その他目標値 （目標年度が到来している場合）	評価・今後の対応
①	駅周辺・生活道路での 路上喫煙率	0.1%（駅周辺） 0.5%（生活道路）	0.07%（駅周辺） 0.37%（生活道路）	0.07%（駅周辺） 0.28%（生活道路）	0.05%（駅周辺） 0.25%（生活道路）	0.11%（駅周辺） 0.5%（生活道路）	0.1%（駅周辺） 0.55%（生活道路）	0.1%未満（駅周辺） 0.5%未満（生活道路） （令和9年度）	―	令和7年7月から加熱式たばこが路上喫煙禁止の対象となり、調査対象が増えたため、一部微増しましたが、概ね目標を達成しました。引き続き条例周知活動や路上喫煙禁止パトロールを効果的に実施していきます。
②	自転車シェアリングの利用実績（広域連携区における1 台あたりの稼働率）	3.6回転／日	3.6 回転／日	3.9回転／日	3.8回転／日	3.5回転／日	3.6回転／日	4 回転／日 （令和9年度）	―	前年度より稼働率は微増しているものの、目標値を達成できていないため、引き続き、広域連携区と協力して利用促進を図っていきます。
③	環境基準の達成度	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	100%達成 （令和9年度）	―	「環境基準100%達成」については、令和7年度も河川水質の一部など、環境基準を達成できていない項目がありました。今後も、継続して監視測定を続けていきます。
④	苦情処理の対応満足度	85%	87%	87%	87%	83%	82%	満足度向上 （令和9年度）	―	令和7年度は82%となり、前年度より低下しましたが、今後も、区民からの要望に対し迅速かつ的確な対応に努め、満足度の向上を図ります。

基本目標５　環境学習・環境教育の推進

個別目標５－１　多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進

個別目標５－２　次代を担う子どもたちなどへの環境学習・環境教育の推進

	指標	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	目標値	その他目標値 （目標年度が到来している場合）	評価・今後の対応
①	環境に配慮した取組を行っている区民の割合（区政モニターアンケート調査結果による）	95.9%	95.2%	93.2%	95.1%	93.0%	93.7%	取組率向上 （令和9年度）	―	「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」については、前年度より増加しました。さらに9割を超える区民が環境に配慮した取組をしており、環境意識は高い水準にあると捉えています。
②	子ども向け環境学習講座の受講が環境配慮行動の実践に繋がった家庭の割合 （アンケート調査結果による）	新規指標のため現状値なし	新規指標のため現状値なし	新規指標のため現状値なし	新規指標のため現状値なし	100%	85.9%	80%以上 （令和9年度）	―	客観的に児童の行動変容を捕捉するため、回答者を児童から保護者に変更し、回答した保護者の85.9%から「環境配慮行動の実践に至った」と回答を得ることができました。
③ ④	大人向け環境学習講座の延べ受講者数	206人／年	224 人／年	194人／年	324人／年	239人／年	521人／年	600 人／年 （令和9年度）	―	事業者省エネセミナー（全3回中、動画配信1回分）について、受講した企業が企業内での環境学習に活用したことにより、受講者数が大幅に増加しました。
④	子ども向け環境学習・環境教育の講座の延べ受講者数	2,306人／年	2,546 人／年	2,502人／年	4,316人／年	4,773人/年	4,749人／年	3,000 人／年 （令和9年度）	―	環境学習出前講座について、区立小中学校等からの要望を受け、実施回数は増加（94回→108回）したものの、1回あたりの参加者が微減（約45人→約40人）したことから、全体の受講者数はほぼ横ばいとなりました。 引き続き、次代を担う子どもたちに向けた意識啓発を図るため、区立小中学校等から講座実施を要望いただけるよう多様な学習プログラムを提供していきます。